

平成 24 年 10 月 17 日

各 位

会 社 名 川崎化成工業株式会社
 代表者名 取締役社長 山部 俊一
 (コード：4117、東証第 2 部)
 問合せ先 取締役経営管理部門長 大坪 孝幸
 (TEL. 044-246-7100)

平成 25 年 3 月期 業績予想（連結・個別）の修正に関するお知らせ

当社は本日開催の取締役会において、平成 24 年 5 月 11 日に公表いたしました平成 25 年 3 月期（平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日）の業績予想（連結・個別）を下記の通り修正することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 25 年 3 月期第 2 四半期（累計期間）連結業績予想（平成 24 年 4 月 1 日～平成 24 年 9 月 30 日）

単位：百万円

	連 結 売 上 高	連結営業利益	連結経常利益	連結四半期純利益	1 株 当 た り 連結四半期純利益
前回発表予想（A）	9,600	△40	△20	△30	△0 円 77 銭
今回修正予想（B）	8,330	△130	△100	△140	△3 円 62 銭
増 減 額（B－A）	△1,270	△90	△80	△110	
増 減 率（％）	△13.2	—	—	—	
（参考）前期第 2 四半期連結実績	8,801	△127	△98	△104	△2 円 70 銭

2. 平成 25 年 3 月期通期連結業績予想（平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日）

単位：百万円

	連 結 売 上 高	連結営業利益	連結経常利益	連結当期純利益	1 株 当 た り 連結当期純利益
前回発表予想（A）	19,000	180	240	300	7 円 75 銭
今回修正予想（B）	17,600	△60	10	230	5 円 94 銭
増 減 額（B－A）	△1,400	△240	△230	△70	
増 減 率（％）	△7.4	—	△95.8	△23.3	
（参考）前期連結実績	16,975	△148	△38	124	3 円 21 銭

3. 平成 25 年 3 月期第 2 四半期（累計期間）個別業績予想（平成 24 年 4 月 1 日～平成 24 年 9 月 30 日）

単位：百万円

	売 上 高	経 常 利 益	四 半 期 純 利 益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 （ A ）	9,570	△20	△30	△0 円 77 銭
今 回 修 正 予 想 （ B ）	8,300	△100	△140	△3 円 62 銭
増 減 額 （ B － A ）	△1,270	△80	△110	
増 減 率 （ % ）	△13.3	－	－	
（参考）前期第 2 四半期実績	8,801	△100	△102	△2 円 65 銭

4. 平成 25 年 3 月期通期個別業績予想（平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日）

単位：百万円

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 （ A ）	18,940	240	300	7 円 75 銭
今 回 修 正 予 想 （ B ）	17,550	10	230	5 円 94 銭
増 減 額 （ B － A ）	△1,390	△230	△70	
増 減 率 （ % ）	△7.3	△95.8	△23.3	
（ 参 考 ） 前 期 実 績	16,923	△44	126	3 円 26 銭

5. 業績予想修正の理由（連結・個別）

平成 25 年 3 月期第 2 四半期の当社グループの業績は、売上高の大部分を占める化学品事業において需要の回復が全般的に遅れており、無水フタル酸、コハク酸、可塑剤、パルプ蒸解助剤 S A Q* など主要製品の販売数量が期首時点の予想に比べ減少しており、減収となる見込みであります。

損益面においては販売数量の減少、設備稼働率の低下（生産調整）による固定費負担の増加、原料価格の下落による在庫受払い差額の計上、加えて原発事故の影響による昨年来の農薬原体アセキノシルの減販に伴い生産調整を行ったことによる設備の休止固定費約 40 百万円を特別損失として計上することから、各利益段階において期首の業績予想に比べ大幅な減益となる見込みであります。

下半期につきましては、主要製品の需要回復の遅れなどから、期首の業績予想値に比べ売上高は減収となり、営業利益、経常利益についても大幅な減益となる見込みであります。

また、期首の業績予想に特別利益として織り込んでいた東京電力からの補償金（農薬原体アセキノシルの減販に伴う営業損害）については、同製品が見込みよりも増販となったことから減額となる一方で、過年度に発生した設備トラブルの損害に対する保険填補金については、今期中に保険会社と合意に至る見通しであることから特別利益として計上する見込みであります。

以上の理由により第 2 四半期及び通期の業績予想（連結・個別）を修正いたします。

（※）上記予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる可能性があります。

以 上